

各位

第12回 Japan IT Week 秋
～第3回ソフトウェア&アプリ開発展～
出展者募集について

一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター

平素は、弊財団の事業活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、この度2021年10月に開催される『第12回 Japan IT Week 秋』に沖縄県の名称にて展示ブースを1.5小間(横9.0m×縦2.7m)確保し、出展することと致しました。

県の展示ブースにおいては、沖縄県の企業誘致施策紹介スペースと併せ、県内企業を3社ご紹介する展示スペースをご用意しております。関東圏での自社商材の販路開拓及びビジネスパートナー探しを検討している企業がございましたら、下記条件をご確認の上、お問合せ・お申込み頂ければ幸いです。

記

催事名：第12回 Japan IT Week 秋

出展対象：第3回ソフトウェア&アプリ開発

出展期間：2021年10月27日(水)～29日(金) 10:00～18:00(最終日のみ17:00)

会場：幕張メッセ

(〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1)

主催：RX Japan 株式会社(旧社名リード・エグジビション・ジャパン株式会社)

URL：<https://www.japan-it-autumn.jp/ja-jp.html>

(参考)昨年度来場者数：3日間合計 22,315人

以上

<出展条件>

■出展条件1

- ・ソフトウェア・アプリ 開発ツール
(アジャイル開発 / 高速開発ツール / 開発自動化ツール / テストツール / 帳票ソリューション / 開発プラットフォーム / プロジェクト管理ツール / ワークフロー など)
- ・オフショア開発サービス/ニアショア開発サービス
- ・システム・データ連携ツール/サービス
(ETL/EAI / API 管理ツール など)
- ・開発受託・コンサルティングサービス
(受託開発 / 第三者検証サービス / UI/UX デザイン など)
- ・アウトソーシングサービス
(SES/技術者 派遣サービス / 翻訳/ローカライズサービス など)
- ・モバイル変換サービス

※ただし、コロナ対策ソリューションをお持ちの企業を優先させていただきます。

■ 出展条件2

- ・展示会準備物として自社製品 PR 用展示パネル (A1 サイズ、2 枚程度) を用意できること
- ・展示会会期中に説明員を常時 1 名以上配置できること (2 名以上推奨)
- ・4 ページ以降に記載されている<新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対策について>を遵守すること

<留意事項>

- ・新型コロナウイルス感染症のリスクを十分考慮したうえでご応募ください。新型コロナウイルス感染症の影響により生じた費用 (渡航キャンセル料等) は応募者の負担となりますのでご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の蔓延等、何らかの理由で渡航取りやめとなった場合でも、オンラインによる出展ブース対応要員の確保をお願いします。

<費用>

■企業負担

- ・沖縄ー会場間の展示物等 (パネル、チラシ、ディスプレイ等) の輸送費
 - ・説明員の旅費 (宿泊費・現地交通費等)、その他出展料以外の経費
- ※出展料 (小間料、装飾費用) は沖縄県が負担いたします。

<募集枠、締切等>

■募集枠：3社

1.5小間（横9.0m×縦2.7m）を、沖縄県と出展企業で分割します。
ブース内は、全体を統一して装飾を実施致します。

■募集締切

2021年8月20日（金）17時まで

■募集後の流れ

- ・応募多数の場合は審査の上、決定させていただきます。
- ・初回出展企業を優先致します。
- ・応募した事業者に対しては、8月27日（金）に結果をご連絡致します。
出展が決まった事業者に対して、9月10日（金）14時～15時にオンライン
または弊財団会議室にて出展社説明会を予定しております。ご出席のほど
よろしく願い致します。

<お申込み方法>

お問合せ・申込先（mail：comp@isc-okinawa.org）へ、下記の必要事項を記載
頂き、メールください。

- ・件名：「第12回 Japan IT Week 秋」応募
- ・企業名：
- ・ご担当者名：
- ・ご担当者連絡先(TEL)：
- ・ご担当者連絡先(Mail)：
- ・展示会説明員参加予定人数：
- ・企業情報（下記4点）をご回答下さい（必須）
出展製品、商材のサービス概要・実績・提供開始年
※特に市場における独自性、新規性についてご説明下さい
- ・沖縄県内に事業所を立地（設立）した年
- ・従業員数（正職員、正職員以外）
- ・本社所在地
- ・出展商材の説明資料をご送付（添付）下さい。

<お問合せ・申込先>

一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター 担当：比嘉、板良敷
電話：098-953-8154 携帯：090-2513-8667（板良敷）

mail：comp@isc-okinawa.org

※テレワークを実施しておりますのでメールまたは携帯までご連絡ください。

<沖縄県委託事業>

令和3年度 情報通信関連企業等誘致事業

<新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策について>

■出展社スタッフの体調管理

①過去14日以内に、下記に該当する方は展示会対応スタッフとしての参加はお控えください。

- ・37.5℃以上の発熱がある方
- ・発熱、咳、咽頭痛など体調がすぐれない方（味覚・嗅覚異常含む）
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある方
- ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航歴がある方
- ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航者との濃厚接触がある方

②出展社スタッフの健康チェックシート

- ・出展社スタッフ参加者は、現場入り4日前から健康状態を管理し、健康チェックシートにオンライン上で記入・提出の義務
- ・出展社スタッフ参加者は、展示会会期中、毎日健康状態をオンラインのチェックシートに記入し提出する

■健康・安全手段の強化

- ・マスク着用の義務
- ・当ブース内エリアに、消毒液設置スペースを設ける
- ・展示品・テーブル・椅子・タブレットの定期的な消毒を徹底する
- ・換気の行き届く空間を整える
- ・感染防止資材を活用（シールド・マスク・消毒液・フェイスガード・ゴム手袋等）
- ・大声での客寄せや会話を控える

■ソーシャルディスタンスを確保

- ・待機列等の発生を考慮し、人の密集防止のため床に印を付けることで空間

の規制を行う

- ・感染予防を意識した会場動線の確認等

■ブース内混雑コントロールの実践

- ・密を発生させるリスクを抑えたブース装飾にし、待機スペース等余裕をもつ
- ・当ブース来場者の流れを管理する(行列・待機スペース等)
- ・事前にアポイントを取り、商談スペースが密にならないよう管理

■スタッフ・訪問者の名簿作成

- ・当ブースにおける説明スタッフの人数を管理
- ・搬入出など展示会会期中を通じての外注スタッフの人数を管理
- ・商談をしたお客様、および可能な限りのブース訪問者の人数を管理

■ブース内で発生したゴミについて

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、ゴミは各自で廃棄すること

<出展社スタッフ事前の行動規範>

■新しい生活様式の遂行

展示会に参加する出展社スタッフは、展示会前から、政府が提唱する「新しい生活様式」を心がける。

①一人一人の基本的感染対策

感染防止の3つの基本：身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）あける。
- ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ・外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状が無くてもマスクを着用する。
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・人ごみの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替えるまたはシャワーを浴びる。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う
(手指消毒薬の使用も可)。

移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。

- ・地域の感染状況に注意する。

②日常生活を営む上での基本的な生活様式

- ・こまめに手洗い・手指消毒
- ・咳エチケットの徹底
- ・こまめに換気（エアコン併用で室温を 28℃以下に）
- ・身体的距離の確保
- ・「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ・一人一人の健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ・毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養

※【参考】「新しい生活様式」実践例（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html